

ぜん 全

しん 進

全員で 進もう!



確かな学び通信
2026.4.20

2年生「図書かん たんけん」

先週から、2～6年生の全クラスでの図書館の授業をスタートしました。今日の段階で6年生の2クラス以外は授業をさせていただきました。各学年の様子を順に紹介させていただきます。まずは、2年生の「図書かん たんけん」の様子です!

指導目標	◎ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知(3)工)
言語活動	図書館の本の並べ方のきまりや工夫を見つけ、発表する。
評価規準例	◎ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)工 ◎ 積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。

「本は友達」設定の趣旨

「本は友達」は、図書館などの施設の利用に関する知識を扱う系統と、さまざまな観点から「本」「読むこと」「読書」について考える系統の年間2か所(1年は3か所)を設定している。

4月の「本は友達」では、学校図書館や公共図書館の利用に関する内容を知り、必要なときに本を探せる技術を身につけることを目的としている。

1	としまからへい いこう	・中央図書館にいきなり、1冊だけ借りる。
2	としまからと なかよし	・実際に読書会や貸出コーナーに、読みたい本を探してみる。
3	図書館たんけん	・本の分け方、並べ方を学ぶ。
4	読書館たんていどん	・自分より読書活動が得意な子、学校図書館の中を案内してもらう。
5	読書館へ送るにらなろう	・本の分け方や並べ方の仕組みについて知り、読書会や貸出コーナーで実践できるようにする。
6	読書館をめぐりこころを	・自分より読書活動が得意な子を探せる。
7	公共図書館を探してみよう	・公共図書館や公民館の中を案内してもらって、必要な本の探せるようになる。

単元設定の趣旨

指導事項に関わって

さまざまな本の中から、読みたい本を探したり、調べたり、借りたりするために、学校図書館における本の分け方や並べ方を理解することがねらいとなっている。日本十進分類法(NDC)による分類や、コーナー設置などの工夫をイラストで表している。詳しい分類は知らなくても、工夫して配架されていることを感じ取りながら図書館を探検し、さまざまな種類の本があることを知って、関心をもてるようにしたい。

言語活動に関わって

学校図書館を定期的に利用することを大事にしながら、利用始めの頃は、図書館全体の配架の工夫などに気づくことが大切である。ここでは絵本や図鑑などの本を探す活動を通して、本の分け方、並べ方を体感的に理解できるようにする。実際に応じて学校司書の役割についても取り上げておくとよい。また、読書記録の書き方も例示されているので、形式を決めて書けるようにするとよい。

教材・題材に関わって

「しぜんの たなに、こん虫の 本が ならんで いるよ。」という歌き出しや、「4月の おすすめ」のコーナーなど、教科書紙面をきっかけにして、読みたい本について十分に語らせるとよい。本単元での学習をきっかけに、日常的な図書館活用や、多読を促していきたい。

指導書に書かれているこの単元の位置づけや、言語活動の設定理由などを自分なりに解釈し、授業を作りました。今まで何となく場所が分かっている状態で本を探せたのは、分類されているからだということの本探し活動を通して実感できるようにしました。今までの経験と今日の学びをつなげるイメージです。

また、系統的に図書館活用について学ぶ単元なので、縦のつながりを確認しました。どの教科においても、系統性を確認することは必要です!

- 【授業の流れ】**
1. 図書館での本の探し方を出し合う。(経験を語る)
 - ↓
 2. テーブルごとにお題の本を探す。(棚の位置を確認)
 - ↓
 3. それぞれどの棚にあったか共有する。
 - ↓
 4. 図書館の本の探し方を確認し、借りる本を探す。

ペンギンのことがわかる本	ピーマンのそだて方がわかる本	「うらしまろう」の絵本
ひこうきのことがわかる本	外国のことがわかる本	プリンのはき方がわかる本

はんで、さがしてみよう!



子どもたちは、上の方に
掲示された分類番号や棚
に差し込まれた細かい分
類の札などを頼りに、声
をかけ合って本を探して
いました。自分たちの今
までの経験をフル活用
しながら、没頭して探
す姿が見られました。今
後の本選びにかしてほ
しいと思います！